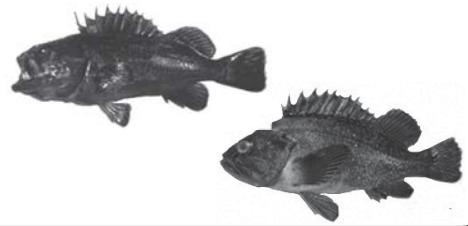


クロソイ・キツネメバル



Sebastes schlegelii (クロソイ)

Sebastes vulpes(キツネメバル)

生態

クロソイ

- ① 寿命：10年以上
- ② 成熟：オス3歳以上
メス3歳以上
- ③ 繁殖期：12月～1月に交尾し6月～7月に産仔
- ④ 分布：日本各地、特に北日本に多い。朝鮮半島、中国にも分布。
- ⑤ 生態：胎生魚。成魚は沖合の岩礁域に生息。

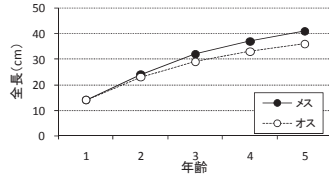


図 青森県クロソイの成長

キツネメバル

- ① 寿命：10年以上
- ② 成熟：オス4歳
メス5歳
- ③ 繁殖期：11月～12月に交尾し4月～6月に産仔
- ④ 分布：日本海沿岸、神奈川県以北の太平洋。青森県では全域に分布。
- ⑤ 生態：胎生魚。成魚は水深20～100mの岩礁域に生息。

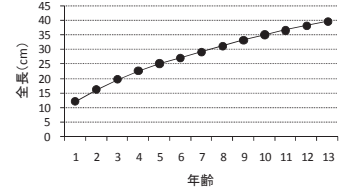


図 青森県キツネメバルの成長

主な漁業

両種とも定置網、籠、一本釣等で夏を除いて1年中漁獲される。クロソイは1歳、キツネメバルは3歳から漁獲される。

漁獲の動向と水準

青森県海面漁業に関する調査結果書では「そい類」としてクロソイ、キツネメバル等は一括で集計され、両種の長期間の漁獲データはない。そい類の漁獲量は昭和51年の250トンを超えて減少傾向にあった。平成3年以降、140～230トンで増減を繰り返す、平成30年は280トンと昭和51年を上回って最高となった。

青森県産業技術センター水産総合研究所が調べた平成13年以降の県内主要漁協のクロソイとキツネメバルの漁獲量をみると、クロソイの漁獲量は平成21年から増減を繰り返しながら増加傾向、キツネメバルは平成23年をピークに減少傾向となっており、平成25年以降、クロソイの漁獲量がキツネメバルを上回った。

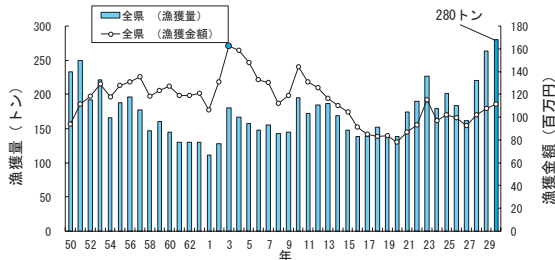


図 青森県におけるそい類の漁獲量及び漁獲金額の推移

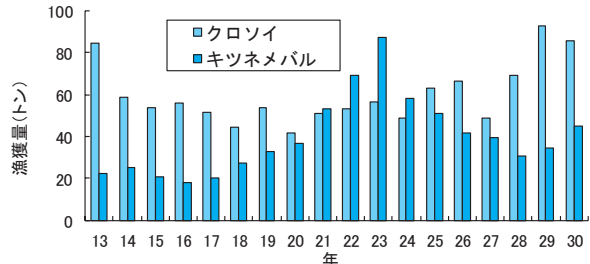


図 主要漁協のクロソイ、キツネメバルの漁獲量 (水総研調べ)

漁獲の動向 (クロソイ) 増加

漁獲の水準 高位

漁獲の動向 (キツネメバル) 横ばい

漁獲の水準 中位

資源を上手に利用するために

- 資源管理計画 (風合瀬漁協 平成7年3月)
- ・クロソイについて15cm未満個体の再放流、荷受け制限を定めた。
- ☆上記のような小型魚の漁獲を自粛する取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・公益社団法人青森県栽培漁業振興協会と青森県産業技術センター水産総合研究所はキツネメバルの標識放流を行っている。平成30年10月に北金ヶ沢漁港から左腹鰭を抜去した稚魚1万尾を放流した。